

1. 科目名（単位数）	ボランティア論（2単位）	3. 科目番号	GELA1330
2. 授業担当教員	多田 富見江		
4. 授業形態	講義（ディスカッションを含む）	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに見直され、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。		
8. 学習目標	1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	授業内で配布する資料をあらかじめ読んでディスカッションに参加し、自分の意見と他の人の意見をまとめてレポートを作成する。授業で示されたテーマのうち自分の関心のあるものを一つ選び、発表資料を作成し発表する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 指定しない（必要な資料を配布する）。 【参考書】 久米隼『これだけは理解しておきたいボランティアの基礎』日本橋出版、2021。 田中優 著『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』河出文庫、2017。 巡静一・早瀬昇 編『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規出版、1997。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。 2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。 3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。 4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度 40％ 課題レポート 30％ 期末評価（レポート・試験等） 30％ ※ 東京福祉大学の学則（第 36 条）に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。		
12. 受講生へのメッセージ	本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。 1. 授業中はつねに集中力を保って受講すること。積極的態度で授業に参加することが期待されている。 2. 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず担当教員に書面をもって報告すること。 4. レポート・発表資料の提出日を厳守すること。 5. 授業の中では、個人の考えを積極的に発言・発表する機会をもうけ、お互い意見の分かち合う事を希望します。また、参考プリントを輪読し、感想を求められる事もあります。授業は参加する学生一人一人が主人公であり、全ての学生が授業に出席して良かったと思える授業にするよう努力して行きましょう。		
13. オフィスアワー	最初の授業でお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス（教員の自己紹介、受講生の自己紹介ーボランティア体験や関心のあるボランティアについて、授業や発表の進め方の説明など）	事前学習	これまでの自分のボランティア経験や、ボランティアについて自分が知っているイメージを書き出しておく。
		事後学習	自分が関心を持っているボランティア活動について考え、まとめる。
第2回	ボランティアの定義、ボランティア活動の理念、ボランティア活動の現状 事前学習 ボランティア活動の定義、理念、および現状 について調べておく。	事前学習	ボランティア活動の定義、理念、および現状について調べておく。
		事後学習	ボランティア活動の定義、理念、および現状についてまとめる。
第3回	自分に合ったボランティアの探し方、相談援助のボランティア（事例）	事前学習	自分が興味あるボランティアを調べておく。
		事後学習	今日学んだ点をまとめる。
第4回	自分に合ったボランティアの探し方、病院内でのボランティア（事例）	事前学習	ディスカッションに自分で準備した資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめる。

第 5 回	電話相談員ボランティア	事前学習	電話相談ボランティアや傾聴ボランティアについて調べておく。
		事後学習	電話相談ボランティアについて学んだ事と感想をまとめる。
第 6 回	教育とボランティア	事前学習	教育に関わるボランティアについて調べておく
		事後学習	教育に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 7 回	子どもとボランティア	事前学習	子どもに関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	子どもに関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 8 回	障害者とボランティア	事前学習	障害者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	障害者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 9 回	高齢者とボランティア	事前学習	高齢者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	高齢者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 1 0 回	町内会・自治会、外国人とボランティア	事前学習	町内会・自治会と外国人を対象としたボランティアについて調べておく。
		事後学習	町内会・自治会について授業で学んだ要点をまとめる
第 1 1 回	民生委員・児童委員、保護司、その他の地域のボランティア	事前学習	民生委員・児童委員および保護司について調べておく。
		事後学習	民生委員・児童委員および保護司について授業で学んだ要点をまとめる。
第 1 2 回	日本と海外のボランティアの歴史	事前学習	日本と海外のボランティアの歴史について、調べておく。
		事後学習	日本と海外のボランティアの歴史についてまとめる。
第 1 3 回	ボランティアコーディネーター、NPO について	事前学習	ボランティアを受け入れる立場に立って、ボランティア活動を考えてみる。
		事後学習	ボランティアコーディネーターに求められる能力について考え、まとめる。
第 1 4 回	ボランティアのジレンマ、企業の社会的貢献 (CSR) 確認テスト	事前学習	ディスカッションに備えて配布資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめ、自分の意見を深める。
第 1 5 回	災害とボランティア、まとめ	事前学習	災害ボランティアについて調べておく。
		事後学習	「人々がボランティア活動を行う理由」や「ボランティアが社会に存在する意義」について考え、期末レポートをまとめる。